



子育て情報 1月号

平成29年 1月

椋山女学園大学附属幼稚園

2017年の始まりに寄せて

園長：横尾 尚子

2017年の干支はトリ。漢字では「酉」と書きます。「酉(とり/ゆう)」は果実が成熟の極限に達した状態を表していて、物事が頂点まで極まった状態を意味すると解され、習い事や学問で結果が出る年だと言われています。後に覚え易くするために、動物の鶏が割り当てられましたが、鶏は時を告げる縁起の良い動物だそうです。さらに、「とり」は「とり込む」に通じ、運気もお客も取り込めることから「商売繁盛」の縁起の良い年だとも言われています。神様のご加護をたっぷり取り込みながら、どうぞ日々お健やかに過ごしてください。

今年、園長職について3度目のお正月です。何だか園長先生として3歳になった気分です。3歳はやる気満々のイチョマエ(自己意識の上では一人前)。3歳児クラスをのぞくと、「ヤリターイ！」の連呼と「モウ一人前ダカラ、役ニ立ッテアゲル」のおせっかいで大賑わいです。

自我が芽生えて自分という存在を意識するよう

になった1歳半以降、子どもは日々大きくなっていく自分を意識して生きてきました。何かができるたびに「ミテミテ」と大人を振り返り、称賛を求めた2歳の頃を経て、「衣服の着脱もできる」「靴の左右もまちがえなくなった」自分の成長に自信を持ち、大人と同じようにふるまえて、人の役にも立てる自分を示したい3歳児が誕生します。こんな3歳児を「わが世の春の3歳児」と呼称する人もいます。

また、あらかじめことばで動きを決めておいて、そのとおりに動ける達成感に喜びを感じるのも3歳の頃です。例えば、2歳児までの追いかけ遊びは、相手が追いかけてくるから逃げるといふ、相手の動きに誘発されたものでした。でも、3歳児の鬼ごっこは、あらかじめことばで約束したとおりに動くことで楽しさが共有されます。3歳は「ことばでの思考」の始まり。わかりやすく動きやすい環境をつくって成功体験を積みませ、その後でことばを添えることによって、「生きたことば力」を育てたいですね。

さあ、新しい一年の始まりです。お子さんと一緒に、思い出のいっぱい詰まった幸せな一年をお過ごしください。私も、やる気満々で頑張ります！！

